

ainote

学校法人藍野大学 広報誌

アイノテ

8

2022
August

Saluti et solatio aegrorum

CONTENTS

Message From AINO

学生・生徒のみなさんへ

4キャンパス体制の確立

明浄学院高等学校との協創

TOPICS

学校法人藍野大学×SDGs／Slackの導入

AINO's NEWS

学校法人藍野大学の最新ニュースをご紹介します

在学生 INTERVIEW

How is your school life?



未来への切符を
掴もうとする
君たちへ。



藍野大学短期大学部
学長 足利 学



藍野大学
学長 佐々木 恵雲



学校法人藍野大学
理事長 小山 英夫



びわこリハビリテーション専門職大学
学長 山川 正信



藍野高等学校
校長 志熊 博忠



明浄学院高等学校
校長 渡邊 雅彦

※撮影のため一時的にマスクを外しております。

人と地域に貢献する 素晴らしい医療人に 育つことを期待しています。

現代日本は、少子高齢化の進展、リモート社会の到来、地域医療ニーズの拡大など、様々なトレンドが交錯する歴史的な転換期を迎えています。学校法人藍野大学ではこうした社会の変化に的確に対応できる、優れた技能と人格を兼ね備えた医療人を育成します。希望・目標は持ち続けてください。持ち続けることにより必ず成功に繋がります。また、悩みや困ったことがあれば、一人で抱え込まず、教職員を頼ってください。我々は、皆さんが強い意志を持って学び、目標が達成できるよう、惜しみないサポート体制で応援します。学校生活において有意義な経験を積み、人と地域に貢献する素晴らしい医療人材に育つことを期待しています。

学校法人藍野大学
理事長 小山 英夫

コミュニケーション力と 論理的思考で、仲間と共に 問題解決できる医療人へ。

医療現場では、学校の試験のように答えがあるかどうか分からない状況に遭遇することも少なくありません。そこで皆さんに求められるのは知識や技術の取得のみならず、コミュニケーション力、論理的思考力を養い、更に協働での問題解決能力を育むことです。藍野大学では皆さんと共にシン・メディカル(複数領域の専門職が切磋琢磨しながら調和的な協働によって生み出される医療の在り方)を通して、社会の様々な変化にも対応できる医療人を育てることを目標としています。是非、私たちと一緒にこれからの医療現場に必要な真のプロフェッショナルたる医療人を目指しましょう。

藍野大学
学長 佐々木 恵雲

地域共生社会づくりを目指し 「専門職大学」として、 実務力と創造力を 兼ね備えた人材の輩出に 取り組んでいきます。

医療やリハビリに携わる者は社会に出てからも最新知識の習得に努め、学び続けなければなりません。専門職大学は、最先端の情報と研究成果を集積し、広く社会に解放された学びの場として、卒業生もしっかりサポートしていきたいと考えています。リハビリ職は人々の健康と命を預かる責任の重い仕事です。本学で学ぶ学生たちには、地域で活躍できる総合的な力を身につけ、地域共生社会づくりをリードしてほしいと願っています。

びわこリハビリテーション専門職大学
学長 山川 正信

コミュニケーション力のある 医療人を目標して。

医療従事者は、人を支援する仕事であり、さまざまな人間関係を必ず経験します。看護師・保健師は病気や健康問題で困っている人を支援し、充実した生活を送ることができるようお手伝いをする素晴らしい仕事です。資格の取得や専門知識・技術の習得はいうまでもなく、「本当の傾聴とは何か？」を皆さんに学んでいただきたいと考えています。実習等で「私は患者さんの話を十分に聴けたのだろうか？」を常に自問自答しながら、人の話を聴くことの難しさを実感してください。また、「人に説明する力」も本学で身につけていただきたいです。単に自分のペースで説明するだけでなく、人に理解していただく説明力を講義や演習を通じて学習していただきたいです。

藍野大学短期大学部
学長 足利 学

じっとしている時間はない 青春は待ってくれないから。

多くの皆さんは、「看護や医療の知識を早く学び高校3年間で准看護師の資格をとりたい」と考えて、藍野高等学校に入学してくれたのかと思います。しかし、私が皆さんにぜひ身につけてもらいたいのは、看護の専門科目の内容もさることながら、社会で通用する基礎学力と一般常識です。世の中の課題は、さまざまな要因が複雑に絡み合い単純に解をもとめることはできません。どんな課題にも対処できるように、今こそ旺盛な探求心を養ってください。総合的な学力は、専門科目の修得にも必ず生きてきます。学ぶことを「面倒だ」と感じる瞬間があるかもしれませんが、面倒なことこそ「幸せ」につながっていますよ。グッドラックです。

藍野高等学校
校長 志熊 博忠

医療の視点を取り入れつつ、 伝統や文化も大切に。 生徒の可能性を最大限に 育む教育の場へ進化します。

2022年4月、学校法人藍野大学の設置校となり、いよいよ新しい明浄学院高等学校がスタートしました。すでに本校では、さまざまな新しい取り組みが始まりました。新しく学びのコース、「看護メディカルコース」を新設し、1年目より55名の入学生を迎えました。また、医療系法人ならではの取り組みとしては、環境美化やフードロスにも力をいれています。2024年には900人規模の新校舎の竣工が予定されています。学校創立101年目、守るべき伝統や文化も大切にしつつ、新しく生まれ変わる明浄学院高等学校にご注目ください。

明浄学院高等学校
校長 渡邊 雅彦

教育

「自ら道を切り拓く力」を育む教育をベースに、社会構造の変化に対応した教育の質向上・学生支援強化に向けた施策と将来投資を行います。

藍野グループ

理念を共有する関連病院や関連福祉施設との協創により、理論と実践を架橋させる医療のスペシャリストの育成や、多様な研究テーマを創出することで、新たな社会価値を生み出します。

Collaborative Creation

(協創)

研究開発

イノベーションの創出のために重視される医療領域を担う研究者の育成を図りつつ、産学官の協創による研究開発を行う拠点を形成し、グローバルな社会課題の解決に挑みます。

社会

教育機関と社会・企業での活動を双方向に連携させていくことが必要であり、大学と地域社会による「智の協創」と呼ぶべき活動の活性化に取り組みます。



大阪茨木キャンパス
(藍野大学/藍野大学短期大学部/藍野高等学校)



びわこ東近江キャンパス
(びわこリハビリテーション専門職大学)



大阪富田林キャンパス
(藍野大学短期大学部)



大阪阿倍野キャンパス
(明浄学院高等学校)



南西角外観イメージ



北東外観・屋外広場イメージ

New

New

※2024年4月新校舎竣工予定

明浄学院高等学校との協創、 4キャンパス体制の確立

2022年4月、明浄学院高等学校を本法人の設置校として、新たな歴史をスタートしました。また、従前は大阪茨木キャンパス、大阪富田林キャンパス、びわこ東近江キャンパスの3キャンパスにより構成していましたが、明浄学院高等学校の大阪阿倍野キャンパスが加わることで、4キャンパスが有機的に連動する新体制が始動しました。

加えて、現在の明浄学院高等学校の校地に新校舎(2024年4月竣工予定)を建設し、明浄学院高等学校と藍野高等学校の統合を行う予定です。本法人は、これからの教育の具現化並びに多様性をめぐる課題に適切に応えるための教育環境を創出します。

明浄学院高等学校の学び

明浄学院高等学校は2021年に開校100周年を迎えましたが、次の100年に向け心を新たにす意味を含め、これまでの“当たり前”から抜け出し、一人ひとりの個性と可能性を咲き誇らせる新しい教育の場へと変革します。本学が目指すのは、自分の人生を自分のちからで切りひらくための教育です。教科書だけでは学べない、社会を力強く晴れやかに生きるための教育です。美しき伝統と本学の校訓である「明・浄・直」の精神を維持継承しつつ、新スローガン「すばらしい

人生を、自分のちからで。」を合言葉に、生徒が型にはまらない発想で、進路に関する視野や可能性を広げることができるように、当法人の藍野大学・びわこリハビリテーション専門職大学・藍野大学短期大学部との「高大接続・連携」による実践的・体験的な学習活動を通じた医療の知識や技術、基本的な概念の理解の深化、医療系大学への進学に備えた専門教育をはじめとし、ファッション・メイクアップやITビジネスなど、時代にフィットした高校教育と専門教育の活性化に取り組みます。

学校法人藍野大学 × SDGs

SDGs
とは

2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。学校法人藍野大学は国際社会の一員として、SDGsに賛同し、より良い国際社会の実現に貢献します。



学校法人藍野大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

1 環境省「令和4年度 地方公共団体及び事業者等による食品廃棄ゼロエリア創出の推進モデル事業等」に採択決定

2022年3月に、環境省が食品ロス削減と食品リサイクルを実効的に推進するための先進的事例を創出し、広く情報発信・横展開を図ることを目的に公募を行った「食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業、mottECO導入モデル事業、食品リサイクル推進・食品ロス削減モデル事業、学校給食における食品リサイクル推進・食品ロス削減モデル事業」において、部門I「食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業」に採択されました。今後、本法人は昨今の大きな社会問題である食品ロスの解決に貢献すべく、学生・生徒、教職員に対する食品ロス削減のための啓発活動を活発に行い、一人ひとりが食品ロスの発生要因を理解し、一番重要で身近である日々の食生活の見直しを行い、大阪茨木キャンパスにおける食品廃棄ゼロエリア化に取り組みます。

2 教育機関初、おおさか食品ロス削減パートナーシップ事業者に決定 食品ロスの削減推進に向けて、学校法人藍野大学と大阪府が協力

2022年2月10日に、大阪府と協力して食品ロスの削減を推進することで、教育機関として初めて、おおさか食品ロス削減パートナーシップ事業者に決定されました。



〈おいしく食べきろう! ログマーク〉

3 学校法人藍野大学「愛のフードバンク」を開設

2021年11月より、コロナ禍で困窮している学生・生徒の支援、また食品ロスの削減に向けて、「フードパントリー」活動を実施しています。



食品寄贈に関するお問合せ・お申込みはこちらから



4 生ごみ処理機「ゴミサー」を設置

学食等の調理現場でどうしても発生する食品廃棄物について、新たに「ゴミサー」を設置し、液体肥料に生まれ変わる仕組みを取り入れています。



5 「食品ロス削減ガイドブック」を発刊

学生・生徒・教職員に向けて、食品ロスとSDGsについて学んでもらうために、学校法人藍野大学オリジナルガイドブックを発刊しました。



デジタル資料はこちらから



医療系大学初!

新たなコミュニケーションツールとして 全学で slack を導入し「デジタルキャンパス」の実現へ

社会・経済が“アナログ”から“デジタルを活用”する時代の変化に合わせ、DX(デジタル・トランスフォーメーション)が進展する社会を牽引する教育機関となる、大学、専門職大学、短期大学、高等学校の全ての学生・生徒、教職員に2022年度(4月1日より順次開始)よりメッセージプラットフォームSlackを導入しました。

本ツールは、学生・生徒、教職員及び事務職員をつなぐコミュニケーションツールとして活用し、コロナ禍において人間関係構築の機会が急減した学生・生徒に対して、つながりの場を提供します。さらに、プラットフォームとしての機能を有しており、本学に導入済みの種々のシステムに対し、シームレスに接続し、抜本的な業務効率化が期待できます。

slack ってなに?

学生・生徒、教職員や保護者などを繋ぐ、組織の枠を超えた多様なシームレスな“学びの場”を実現するコラボレーションハブです。



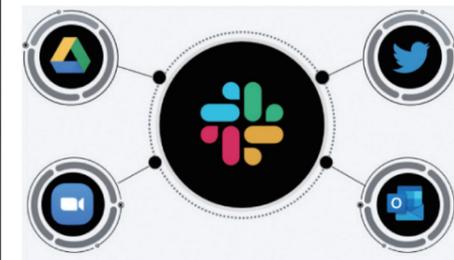
オープンに、カジュアルに、コミュニケーションできる橋を架け、全学をつなぐ!

Executive Producer Slack



学校法人藍野大学 副理事長
山本 嘉人
YAMAMOTO Yoshito

Creating a virtual campus environment with Slack



Slackは、学生・生徒の皆さんと教職員、事務職員を有意義に結びつけるチャットベースのメッセージプラットフォームです。また、様々なグループウェアを共有できるデジタルキャンパスを可能にするツールです。こんなこと!あんなこと!一緒に活用してみませんか。

- ▶ キャンパス内のデジタル化と学習環境の向上に役立っています。
- ▶ 学生・生徒の皆さんと教職員の対面による学習活動を補完します。
- ▶ キャンパス内の情報を得るための検索と共有を一つの場所で行います。
- ▶ 産官学の連携における新しい活動とピアコラボレーションを創造します。
- ▶ プロジェクトやトピック、チーム別に専用チャンネルを作成することで会話(仕事)が整理され、分かりやすくなります。
- ▶ 必要なメンバーと情報を1つの場所にまとめることで、アイデアの共有から意思決定を行い、仕事を円滑に進めることができます。
- ▶ 社内・社外(他校)を問わないコラボレーションが可能です。
- ▶ パブリックとプライベートの設定で安全な環境を確保します。ワークスペースのメンバーは誰でも参加・閲覧が可能な透明性あるパブリックチャンネルと、指定されたメンバーのみが参加・閲覧できるプライベートチャンネルのいずれかを設定できます。

AINO's NEWS

AINO Group 2022 - NEWS TOPICS -

藍野大学

NHK「マトヤマ家のじかんだよ!」に 作業療法学科 高畑脩平先生がアドバイザーとして協力

2022年3月に放送されたNHK「マトヤマ家のじかんだよ!」に藍野大学・作業療法学科助教であり、発達障害、特別支援教育を専門とする、高畑脩平先生が作業療法士の視点からアドバイスをを行いました。「マトヤマ家のじかんだよ!」は、NHKが制作する家族みんなで楽しめるコント仕立てのパラエティ番組です。その中で、夜間でも安心して取り組める「ドタバタ音を出さない体操」の制作に携わりました。この体操は、宅トレで有名なYouTuber竹脇まりなさんが作成・出演され、高畑先生は動きの発達学的要素、運動学的要素などの視点を提供しました。



©NHK・NED「マトヤマ家のじかんだよ!」



作業療法学科
助教 高畑脩平

びわこリハビリテーション専門職大学

共同研究により特許を取得

びわこリハビリテーション専門職大学作業療法学科の井出千束教授と理学療法学科の中野法彦教授、兼清健志准教授が、学校法人近畿大学、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター (TRI) の尾前薫氏との共同研究により、「神経損傷治療剤」を発明しました。これを受けて、学校法人近畿大学と学校法人藍野大学とが特許出願を行い、このたび特許取得に至りました。

【特許出願の概要】

井出教授らは、近畿大学 森本康一教授、國井沙織研究員が開発した細胞低接着性コラーゲン(LASCoI, Low Adhesive Scaffold Collagen)の臨床応用に向けた共同研究を森本教授らと進めてきました。

その結果、LASCoI上で神経細胞を培養すると神経突起の伸長が亢進され、脊髄損傷モデルラットにLASCoIを埋入すると神経再生と運動機能回復が促進されることを見出しました。

これらの知見に基づき、LASCoIが脊髄損傷をはじめとする神経疾患の治療効果を高める生体材料として新規性があるものとして、特許出願に至りました。なお、本研究は、AMED橋渡し研究戦略的推進プログラムシーズA(国立大学法人大阪大学拠点)の研究支援で行われました。

出願番号：特願2019-569589

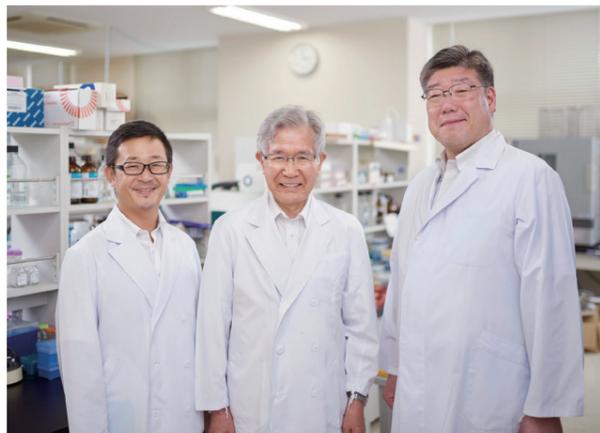
登録番号：特許第7012970号

登録日：2022年1月21日

発明の名称：神経損傷治療剤

特許権者：学校法人 近畿大学 学校法人 藍野大学

発明者：森本康一 國井沙織 兼清健志 中野法彦 井出千束 尾前薫



左より、兼清健志准教授、井出千束教授、中野法彦教授

藍野大学短期大学部

社会医療法人寿会 富永病院と包括連携協定を締結

～知的、物的資源の相互活用、人的交流の促進による相互並びに地域社会の発展を目指して～

教育・研究・臨床の各分野において連携・協力することに合意し、
2022年3月23日に包括連携協定を締結しました。

本協定は、藍野大学短期大学部の授業への講師としての医師・看護師などの派遣や本学教員による医療スタッフへの教育活動といった人材の相互派遣を行うとともに、「看護師」資格に必要な医療機関での臨床実習指導や実習場の提供、両者の知識や設備を相互利用することによる保健医療・医学分野における研究の推進など、包括的な連携のもと幅広い分野で協力し、医療人材の育成と医療の発展に寄与することを目的としています。

【連携協定の概要】

- (1) 保健医療・医学分野での研究
- (2) 人材の相互派遣
- (3) 施設・設備の利用
- (4) 藍野大学短期大学部に在籍する学生の臨床実習指導
- (5) その他、本協定の趣旨に基づく内容

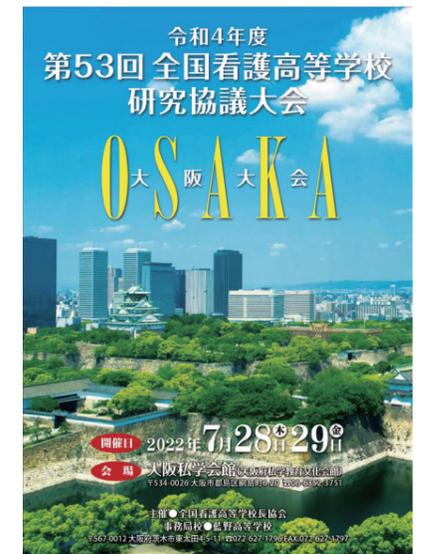


藍野高等学校

令和4年度 第53回全国看護高等学校 研究協議大会(大阪大会)の開催

全国看護高等学校研究協議大会(主催 全国看護高等学校長協会)において
藍野高等学校が2022年7月28日～29日(於 大阪私学会館)に開催の
主幹事務局校を務めました。

本大会は、例年文部科学省と厚生労働省の指導協力のもと、全国の看護系高等学校90数校の教職員と関係者が一堂に会して、「人間性豊かな医療人の育成」に必要な教育方法・内容等を協議するとともに、各教育現場におけるさまざまな実験的取り組みの成果を相互に共有する場となっており、高等学校の看護基礎教育の充実と発展を目指すものです。藍野高等学校は大会運営委員会の「主幹事務局校」として、本大会の企画・運営の協議における中心的な役割を担いました。



明浄学院高等学校

Meijo English Caféがスタート

明浄学院高等学校では、今年度より新しい試みとして、Meijo English Caféがスタートしました。放課後にネイティブの先生たちと気軽に英語で会話を楽しむ時間となっており、本物の英語に触れることで英語に興味や関心を持つ生徒を1人でも多く増やすことが目的です。Meijo English Caféは月曜日と水曜日に1時間程度活動しており、参加する生徒はいつもの授業よりも近い距離でネイティブの先生と対話をすることができるため、より多くの気づきや学びを得ることができ、とても良い時間を過ごしています。

Meijo English Caféはクラブ活動とは違い、時間の都合がつく生徒であれば誰でも参加できるカジュアルな取り組みです。また、英語での会話を楽しむだけでなく、他学年との交流の場にもなっており、学年の壁を越える良いきっかけにもなっています。



コロナ禍に入学して2年 How is your school life?

入学してみて、学生生活どうでしたか?

同じ夢

に向かう

過去に祖父がICUで治療を受けていた際、看護師さんが私に寄り添い、不安だった気持ちを軽くしてくれた経験から、看護師を目指し始めました。藍野大学を志望したのは、看護師だけでなく、保健師や養護教諭の免許取得も可能で、将来の選択肢が増やせる点に魅力を感じたから。国家試験の合格率や就職率が高いことも大きかったです。

コロナ禍の授業は自宅での受講が多かったため、わからなかったところはSNSを通じて友達に聞くようにしていました。同じ夢に向かう仲間という意識があるため、勉強を教え合い試験情報を共有し合ったりすることが多く、団結力が強い学科です。友人も頑張っているなら自分も頑張ろうという気持ちに自然となります。

仲間どうして助け合い、団結力が強い学科。

藍野の先生はみんなフレンドリーで、質問にも丁寧に優しく答えてくださるため、とても聞きやすい環境があります。理学療法学科や作業療法学科、臨床工学科の学生と一緒に授業を受け、チーム医療の一員として、それぞれの職種の役割を学ぶことができるシン・メディカルの授業では、多職種連携において何が必要かも学べました。

一人ひとりに必要な看護を行うには、患者さんの情報を収集し、分析する必要があります。そのため、病院での実習では患者さんと積極的にコミュニケーションをとり続け、どうすれば思いを引き出せるかなどを日々、考えながら臨みました。病院実習や授業のグループワークでリーダーを務めることも多く、周りを見て、行動する力も身につけられたと思います。将来の目標は、ICUで一人ひとりの心に寄り添える看護師になることです。

病院実習

では、必要な看護を
行うための力を
磨いた。

INTERVIEW >>
藍野大学 医療保健学部 看護学科 3年生

岡本 拓磨さん



社会勉強をしたいと、飲食店を含めさまざまなアルバイトも経験。母が忙しいときには自宅で料理をつくることも。特にオムライスが好評です。



勉強ばかりだと息が詰まるので(笑)仲間とバレーボールサークルを立ち上げました。自由参加のゆるい集まりですが今は50人以上の部員が在籍しています。



高校では、バレーボール部でキャプテンとして努め、京都府ベスト8となりました。コロナ禍が落ち着いてきたのでサークルにも入りたいです。



入学直後はオンライン授業でついていけないか不安でしたが、先生に質問に行くと、みんな同じ状況であることを知り、安心できました。

話しやすい

藍野大学の先生は、みんな話やすく面白いです。先生方がフォローし引張って来てくれたおかげで、学科内はみんな仲が良く、勉強しやすい雰囲気があります。授業の内容はどれも興味深く、なかでも生理学が印象的。学部長でもある後藤昌弘先生の授業で、スピードが速く内容も多いですが、とても面白いです。実習では実際に患者さんの身体に触れるため、健全な状態との違いも知ることができました。勉強に大切なのは、毎日の積み重ね。毎日の授業をしっかりと聞き、毎回の小テストをしっかりとこなすことで、身につけている実感があります。将来は、技術はもちろん人間性も豊かで、患者さんに寄り添える理学療法士になりたいです。

大学に入ってから、**責任**ある行動ができるように。

先生方がフォローし、引張ってくれます。

<< INTERVIEW
藍野大学 医療保健学部 理学療法学科 3年生

安住 風香さん

2021年度 学校法人藍野大学 決算

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部			
科目	2021年度末	2020年度末	増 減
固定資産	14,153,156	15,611,784	△ 1,458,628
有形固定資産	13,521,337	13,878,763	△ 357,426
特定資産	600,000	400,000	200,000
その他の固定資産	31,818	1,333,020	△ 1,301,202
流動資産	4,180,396	2,742,459	1,437,937
資産の部合計	18,333,552	18,354,243	△ 20,690
負債の部			
科目	2021年度末	2020年度末	増 減
固定負債	2,368,095	3,689,843	△ 1,321,747
流動負債	4,160,748	3,066,915	1,093,832
負債の部合計	6,528,843	6,756,758	△ 227,914
純資産の部			
科目	2021年度末	2020年度末	増 減
基本金	17,113,577	16,770,087	343,489
繰越収支差額	△ 5,308,867	△ 5,172,602	△ 136,265
純資産の部合計	11,804,709	11,597,485	207,224
負債及び純資産の部合計	18,333,552	18,354,243	△ 20,690

※単位表示は、千円未満切捨のため、合計額が一致しない場合があります。
※「増減」欄は、「2021年度末」欄から「2020年度末」欄の金額を控除した金額となっています。

資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部			
科目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,240,000	3,254,038	△ 14,038
手数料収入	67,249	65,211	2,037
寄付金収入	58,369	58,575	△ 206
補助金収入	582,041	606,327	△ 24,286
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	104,179	87,911	16,267
受取利息・配当金収入	30	1,989	△ 1,959
雑収入	87,283	85,707	1,575
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	2,765,217	2,629,937	135,279
その他の収入	23,012	31,021	△ 8,009
資金収入調整勘定	△ 2,494,611	△ 2,505,695	11,083
前年度繰越支払資金	2,704,003	2,704,003	
収入の部合計	7,136,772	7,019,029	117,743
支出の部			
科目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	2,294,976	2,264,257	30,718
教育研究経費支出	929,616	850,872	78,743
管理経費支出	438,030	386,591	51,438
借入金等利息支出	17,061	17,213	△ 152
借入金等返済支出	218,646	218,646	0
施設関係支出	17,709	16,159	1,549
設備関係支出	54,158	60,851	△ 6,693
資産運用支出	200,000	200,000	0
その他の支出	302,620	293,911	8,708
予備費	(0) 1,247		1,247
資金支出調整勘定	△ 86,710	△ 117,434	30,723
翌年度繰越支払資金	2,749,419	2,827,960	△ 78,540
支出の部合計	7,136,772	7,019,029	117,743

※単位表示は、千円未満切捨のため、合計額が一致しない場合があります。

事業活動収支計算書

(単位:千円)

教育活動収支					
科目	予 算	決 算	差 異		
学生生徒等納付金	3,240,000	3,254,038	△ 14,038	事業活動収入の部	
手数料	67,249	65,211	2,037		
寄付金	58,369	59,416	△ 1,047		
経常費等補助金	582,041	606,327	△ 24,286		
付随事業収入	104,179	87,911	16,267		
雑収入	87,283	87,944	△ 661		
教育活動収入計	4,139,121	4,160,850	△ 21,729		
人件費	2,294,976	2,264,857	30,118		事業活動支出の部
教育研究経費	1,321,307	1,240,508	80,798		
管理経費	477,130	423,289	53,840		
徴収不能額等	0	0	0		
教育活動支出計	4,093,413	3,928,655	164,757		
教育活動収支差額	45,708	232,195	△ 186,487		
教育活動外収支					
科目	予 算	決 算	差 異		
受取利息・配当金	30	1,989	△ 1,959	事業活動収入の部	
その他の教育活動外収入	0	0	0		
教育活動外収入計	30	1,989	△ 1,959		
借入金等利息	17,061	17,213	△ 152	事業活動支出の部	
その他の教育活動外支出	0	0	0		
教育活動外支出計	17,061	17,213	△ 152		
教育活動外収支差額	△ 17,031	△ 15,223	△ 1,807		
経常収支差額	28,677	216,971	△ 188,294		
特別収支					
科目	予 算	決 算	差 異		
資産売却差額	0	0	0	事業活動収入の部	
その他の特別収入	0	8,334	△ 8,334		
特別収入計	0	8,334	△ 8,334		
資産処分差額	0	18,082	△ 18,082	事業活動支出の部	
その他の特別支出	0	0	0		
特別支出計	0	18,082	△ 18,082		
特別収支差額	0	△ 9,747	9,747		
予備費	(0) 55,520		55,520		
基本金組入前当年度収支差額	△ 26,843	207,224	△ 234,067		
基本金組入額合計	△ 586,183	△ 343,489	△ 242,693		
当年度収支差額	△ 613,026	△ 136,265	△ 476,760		
前年度繰越収支差額	△ 5,172,602	△ 5,172,602	0		
翌年度繰越収支差額	△ 5,785,628	△ 5,308,867	△ 476,760		
(参考)					
事業活動収入計	4,139,151	4,171,175	△ 32,024		
事業活動支出計	4,165,994	3,963,950	202,043		

※単位表示は、千円未満切捨のため、合計額が一致しない場合があります。
※「差異」欄は、「予算」欄から「決算」欄の金額を控除した金額となっています。

活動区分資金収支計算書

(単位:千円)

教育活動による資金収支		その他の活動による資金収支	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,254,038	借入金等収入	0
手数料収入	65,211	貸付金回収収入	800
特別寄付金収入	57,833	預り金受入収入	20,978
一般寄付金収入	742	仮払金回収収入	62
経常費等補助金収入	606,327	仮受金受入収入	250
付随事業収入	87,911	保証金回収収入	105
雑収入	85,707	小計	22,195
教育活動資金収入計	4,157,771	受取利息・配当金収入	1,989
人件費支出	2,264,257	その他の活動資金収入計	24,185
教育研究経費支出	850,872	借入金等返済支出	218,646
管理経費支出	386,591	仮払金支払支出	32
教育活動資金支出計	3,501,721	仮受金支払支出	760
差引	656,049	小計	219,438
調整勘定等	114,084	借入金等利息支出	17,213
教育活動資金収支差額	770,134	その他の活動資金支出計	236,651
施設整備等活動による資金収支		差引	△ 212,466
科目	金額	調整勘定等	197
施設設備寄付金収入	0	その他の活動資金収支差額	△ 212,269
施設設備補助金収入	0	支払資金の増減額(小計+ その他の活動資金収支差額)	123,956
施設設備売却収入	0	前年度繰越支払資金	2,704,003
施設整備等活動資金収入計	0	翌年度繰越支払資金	2,827,960
施設関係支出	16,159		
設備関係支出	60,851		
第2号基本金引当特定資産繰入支出	200,000		
施設整備等活動資金支出計	277,010		
差引	△ 277,010		
調整勘定等	△ 156,897		
施設整備等活動資金収支差額	△ 433,907		
小計(教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額)	336,226		

※単位表示は、千円未満切捨のため、合計額が一致しない場合があります。

寄付金の状況

本法人は租税特別措置法施行令第26条の28の2第1項第2号に規定する要件を満たす法人として、卒業生や保護者、教職員、民間団体・企業などを対象とし、本法人が設置する学校の校舎増改築および設備充実事業その他教育活動の充実のために必要な経常経費に充当することを目的に寄付金募集を行っています。

2021年度 寄付金募集状況

(単位:千円)

対 象	種 類	件 数	金 額
4月～3月	一般寄付金収入	7件	742

学生生徒数及び収容定員充足率の推移



事業活動収支差額比率の推移



純資産額の推移



補助金の状況

2021年度における補助金交付額は606,328千円となりました。
内訳は以下のとおりです。

(単位:千円)

補助金名称	対象校	交付額
私立大学等経常費補助金	大学・短期大学部	199,119
令和3年度大学改革推進等補助金	大学	9,937
授業料等減免費交付金	大学・専門職大学・ 短期大学部	153,846
大阪府私立高等学校等経常費補助金	高等学校	187,721
大阪府他高等学校等授業料支援補助金	高等学校	51,589
私立学校等情報機器整備費補助金	高等学校	1,500
大阪府私立高等学校等就学支援金事務費他	高等学校	2,615
合 計		606,328

※単位表示は、千円未満切捨のため、合計額が一致しない場合があります。

寄付金募集のご案内

当法人では、学術研究や教育等の充実・発展のために寄付をお願いしています。教育・研究を通じ、これからも社会に貢献していきます。本学の各種活動にご支援いただきますようお願い申し上げます。

寄付金募集要項

特定公益増進法人指定寄付金

募集目的	募集方法
・藍野大学、びわこリハビリテーション専門職大学、藍野大学短期大学の教育研究活動および教育研究環境(施設設備)の充実 ・藍野高等学校の教育活動および教育環境(施設設備)の充実 ・明浄学院高等学校の教育活動および教育環境(施設設備)の充実 ・2024年4月新校舎竣工予定(大阪阿倍野キャンパス)の設備充実等	1. 申込金額 【個人】1口3,000円 【法人】1口当たりの金額は定めておりません。 ※個人、法人とも口数・金額にかかわらずお受けいたします。 2. 募集対象 在学(校)生、卒業生、保護者、教職員、企業等の法人・団体および当法人の教育にご賛同いただける方。 3. 申込・送金方法 ■払込取扱票(郵便振替用紙)を利用したご寄付 別紙の払込取扱票に必要事項をご記入の上、郵便局(ゆうちょ銀行)の「窓口」からお振り込みください。 ※別紙の払込取扱票を使用した場合、払込手数料は本学が負担いたします。 ■企業等の法人・団体からご寄付 法人事務局総務センター経理グループにご連絡をお願いいたします。 ※寄付金の免除措置に関しては、下記「税法上の優遇措置について」をご覧ください。
募集目標額	1億円
募集期間	2019年4月1日～2023年3月31日
お問い合わせ先 学校法人藍野大学 法人事務局 総務センター経理グループ TEL:072-621-3764 ※学校法人藍野大学が募集する寄付金の応募は任意です。また、入学前の募集は行っていません。	

税法上の優遇措置について – 寄付することで、税金が控除される制度があります –

平成23年度の税制改正により既存の所得控除制度に加え、寄付者の選択により新たに税額控除制度の適用を受けられるようになりました。この税額控除制度は、所得税率に関係なく所得税額から直接控除するため、所得控除制度と比較して、多くの方において減税効果が大きくなります。

(1) 個人の場合

① 所得税の寄付金控除

文部科学省から所得税の「税額控除対象法人」及び「特定公益増進法人」の認可を受けておりますので、寄付者様にて「所得控除制度」または「税額控除制度」のいずれかのメリットの大きい方をご選択いただくことが可能です。詳しくは所轄税務署にお尋ねください。

◎ 税額控除制度

(当該年中の寄付金の合計額－2,000円)×40%＝寄付金控除額
※寄付金控除額が所得税額から直接控除されます。

※当該年中は1月1日から12月31日の間となります。
※寄付金の合計額が総所得金額等40%を超える場合には、40%に相当する額が限度額となります。
(例) 10,000円の寄付をした場合
(10,000－2,000)×40%＝3,200円 → 3,200円が所得税から控除されます。

◎ 所得控除制度

(当該年中の寄付金の合計額－2,000円)＝寄付金控除額
(課税所得－寄付金控除額)×税率＝所得税額

※寄付金の合計額が総所得等40%を超える場合には40%に相等する額が限度額となります。

② 個人住民税の寄付金税額控除

当法人へ寄付をしていただいた方で、※①大阪府内にお住まいの方、※②茨木市と富田林市にお住まいの方は、個人住民税の寄付金税額控除を受けることができます。

(住民税控除率)
都道府県が指定した寄付金…4% (大阪府で大阪市・堺市以外にお住まいの方)、
2% (大阪府で大阪市・堺市にお住まいの方)
都道府県と市区町村の双方が指定した寄付金…10% (茨木市、富田林市)

(当該年中の寄付金の合計額－2,000円)×住民税控除率＝寄付金控除額

※寄付金の額が総所得金額等40%を超える場合には、40%に相当する額が限度額となります。

※個人住民税の寄付金税額控除は、所得税の確定申告をすることにより適用を受けることができます。
※所得税の確定申告をされずに、個人住民税の寄付金税額控除のみを受けようとする場合には、寄付した翌年の1月1日にお住まいの市区町村へ申告することにより、適用を受けることができます。
※税制優遇の対象とならない条件もありますので、ご不明の場合は、市区町村の各担当窓口へお問い合わせください。
※今後、条例改定等があった場合は、お住まいの市区町村の各担当窓口へお問い合わせください。

③ 確定申告について

所得税の寄付金控除と個人住民税の寄付金税額控除の両方の適用を受ける場合は、ご寄付をいただいた翌年の確定申告期間に当法人発行の「領収書」と「特定公益増進法人証明書」(写)あるいは「税額控除に係る証明書」(写)を添えて所轄税務署に対して所得税の確定申告をする必要があります。

※領収書と寄付金控除に必要な証明書の写し等は、ご希望の方にお送りしております。御入用の方は上記お問い合わせ先までご連絡ください。

(2) 法人の場合

寄付金に対する損金算入手続きには、特定公益増進法人に対する寄付金と受配者指定寄付金による方法があり、どちらかを選択していただく必要があります。詳細については上記お問い合わせ先までお尋ねください。

【お願い】
事業団が寄付金を受理した日が損金算入日となります。お手元に事業団からの「寄付金受領書」が届くまでは更に2ヵ月程かかりますので、当該決算期に損金処理される予定の場合には、遅くとも決算日の2ヵ月前までにはお振込みいただきますようお願いいたします。

(3) その他

当法人への寄付金について、地方公共団体から条例等により寄付者名簿の提出を求められる場合があります。その際は、寄付者の氏名・住所・寄付金額・寄付金受領日を記載した寄付者名簿を提出いたしますのでその旨ご了承ください。

学校法人藍野大学の概要

設立:1979年9月

大阪茨木キャンパス

藍野大学
大学院
看護学研究科
医療保健学部
看護学科/理学療法学科
作業療法学科/臨床工学科
〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4
TEL:072-627-1711/FAX:072-627-1753

藍野大学短期大学部
第一看護学科/専攻科(地域看護学専攻)
〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25
TEL:072-626-2361/FAX:072-621-1901

藍野高等学校
衛生看護科
〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-11
TEL:072-627-1796/FAX:072-627-1797

藍野大学中央研究施設
〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4
TEL:072-627-1711/FAX:072-627-1753

藍野大学中央図書館
〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25
TEL:072-625-6369/FAX:072-627-3355

藍野大学キャリア開発・研究センター
〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4
Medical Learning Commons 1F
TEL:072-627-7878/FAX:072-627-7997

**藍野大学短期大学部
メディカル・ヘルスイノベーション研究所**
〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-22 アイノピアビル2F
TEL:072-626-2361/FAX:072-621-1901

**あいの発達支援
リハビリ訪問看護ステーション**
TEL:072-627-7896/FAX:072-626-2414

法人事務局
〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-22 アイノピアビル3F
TEL:072-621-3764/FAX:072-621-3756

大阪富田林キャンパス

藍野大学短期大学部
第二看護学科
〒584-0076 大阪府富田林市青葉丘11-1
TEL:072-366-1106/FAX:072-366-1107

大阪阿倍野キャンパス

明浄学院高等学校
普通科
進学アドバンスコース
看護メディカルコース
総合キャリアコース
〒545-0004 大阪府大阪市阿倍野区文の里3-15-7
TEL:06-6623-0016/FAX:06-6627-1165

びわこ東近江キャンパス

びわこリハビリテーション専門職大学
リハビリテーション学部
理学療法学科/作業療法学科
〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967
TEL:0749-46-2311/FAX:0749-46-2313

更に詳しい情報を知りたい方はこちらもCHECK!!

公式ホームページ



公式YouTube



デジタルパンフレット



DM登録情報の変更、配信停止



編集後記

ainote (アイノテ) 2022年8月号をお読みいただきありがとうございます。
本紙のメインテーマは「学校法人藍野大学の未来～次なる成長に向けて～」です。2022年度から4キャンパス体制となり、新たな藍野グループとして、理事長をはじめ各設置校の学長・校長より、学生・生徒の未来に向けてメッセージを贈りました。また、本紙ではコロナ禍の中、夢に向かって日々学業に専念する在学生へのインタビューや学校法人全体での新しい取り組みを紹介し、藍野でのリアルなキャンパスライフを保護者の方、卒業生の方をはじめ、多くの方々に知ってもらいたいと思い、お届けしました。末筆ではございますが、今回取材・撮影にご協力いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。

ainote

学校法人藍野大学 広報誌 | アイノテ 2022.08

【発行所】〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-22 学校法人藍野大学 法人事務局 総務センター 総務グループ TEL:072-621-3764

